

Oracle データベースを使用した外部データベースへの CUCM IM and Presence サービス接続の問題

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[外部 Oracle Database への接続を確立する問題 1.失敗](#)

[解決策](#)

[問題 2。準拠性機能が設定されれば Cisco XCP メッセージ Archiver は開始しません](#)

[解決策](#)

[問題 3。Cisco テキスト会議 マネージャ サービスは開始しません耐久性があるチャット機能が設定されれば](#)

[解決策](#)

[IM の外部 データベース 接続ステータスおよび存在サービスを確認して下さい](#)

[手順](#)

概要

この資料に IM のための Oracle Database および存在サービス Unified Communications Manager (CUCM) に on Cisco 接続するとき直面するかもしれない問題を解決する方法を記述されています。

前提条件

要件

Cisco は IM のためのデータベース セットアップおよび存在サービス Unified Communications Manager のナレッジが on Cisco あることを推奨します。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は IM のためのデータベース セットアップおよび存在サービス Unified Communications Manager に on Cisco 基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

外部 Oracle Database への接続を確立する問題 1.失敗

解決策

あらゆる Oracle Database 接続に関する問題に関しては、これらのステップを完了したことをまずチェックして下さい:

1. 表領域を作成しました。
2. データベース ユーザーを作成しました。
3. データベース ユーザーへの付与されたアクセス許可。

ヒント: 詳細については、[Oracle インストールおよびセットアップ](#)を参照して下さい。

4. 表領域を確認しました。

正しいユーザ名、パスワードおよび表領域 組み合わせを利用することを確認して下さい。Oracle Database のために利用可能な 表領域を判別するために SYSDBA としてこのクエリを実行して下さい:

```
SELECT DEFAULT_TABLESPACE FROM DBA_USERS WHERE USERNAME = 'lower_case_username';
```

注: ユーザ名は単一 引用符 (文字列リテラル) で小文字を持つユーザを定義しても、このコマンドが成功することができるように大文字で書き。

正しいデフォルトポート数を使用すること、そしてデータベースと IM 間にファイアウォールと存在サービス ノードがないことを確かめて下さい。Oracle のためのデフォルトポート数は 1521 であり、有効になる Secure Sockets Layer (SSL) の Oracle のためのデフォルトポート数は 2482 です。異なるポート数を必要であれば選択できます; ただし、それは外部 データベース サーバの利用可能なポートを一致する必要があります。その他のサービスと競合するときだけポート番号を変更して下さい。利用可能なポートのリストに関しては、[Cisco Unified Communications Manager のための TCP および UDP ポート 使用方法 ガイド](#)参照して下さい。

注: インターネット制御メッセージ プロトコル (ICMP) /ping が通過するのに、データベース接続使用異なるポートを確立します。

データベースを設定したこと、そして動作すること Cisco XCP ルータが再起動した確認して下さい。

5. ルートからのこれらのコマンドの実行を用いる Oracle Database 接続のステータスを確認しました:

```
ORACLE_HOME=/usr/lib/oracle/client_1/ export PATH="$ORACLE_HOME/bin:$PATH"
export LD_LIBRARY_PATH="$ORACLE_HOME/lib:$LD_LIBRARY_PATH" sqlplus
username/password@dsn
The data source name (dsn) value can be obtained from the
$ORACLE_HOME/network/admin/tnsnames.ora file
```

注意: IM および存在サービスが IPv6 の使用と外部 データベース サーバに接続する場合、エンタープライズ パラメータが IPv6 のために設定されること、そして Eth0 が配備の各ノードの IPv6 のために設定されるようにして下さい; さもなければ、外部 データベース サーバへの接続は失敗します。メッセージ archiver および Cisco XCP テキスト会議 マネージャは外部 データベースに接続し、失敗をできません。IM の IPv6 および存在サービス設定する方法についての情報に関しては [IM の設定および管理および存在サービス Unified Communications Manager on Cisco](#) 参照して下さい。

注: 拡張可能なメッセージングおよび存在プロトコル (XMPP) 仕様に従って、IM および存在サービス ノードは UTF8 文字エンコーディングを使用します。これはノードが多く言語を使用して同時に操作し、クライアントインターフェイスで特別な言語文字を正しく表示するようにします。ノードと Oracle を使用したいと思う場合 UTF8 をサポートするためにそれを設定して下さい。

注: データベースタイプとして Oracle を選択するとき、**イネーブル SSL** チェックボックスはアクティブになります。イネーブル SSL チェックボックス、か生じる認証ドロップダウン フィールドが、修正されるとき、外部 データベースに割り当てられる対応したサービスを再開する通知は送信されます。Cisco XCP メッセージ Archiver か Cisco XCP テキスト会議 マネージャにかかわるメッセージは生成されます。SSL を有効にする必要がある認証はコップ xmpp 信頼ストアにアップロードする必要があります。認証が IM のすべてのノードおよび存在サービス クラスタに伝搬することができるように 15 分を待って下さい。待たない場合、認証が伝搬しなかったノードの SSL 接続は失敗します。認証が抜けていたりまたはコップ xmpp 信頼ストアから削除される場合、アラームは Cisco Unified Communications Manager 実時間監視 ツール (RTMT) で発します。

問題 2。 準拠性 機能が設定されれば Cisco XCP メッセージ Archiver は開始しません

解決策

Unassign はノードからの外部 データベース 外部 データベース接続のステータスは良いことをシステム構成修理係ウィンドウが表示しても、それを割当て直し。

問題 3。 Cisco テキスト会議 マネージャ サービスは開始しません 耐久性があるチャット機能が設定されれば

解決策

Unassign はノードからの外部 データベース 外部 データベース接続のステータスは良いことをシステム構成修理係ウィンドウが表示しても、それを割当て直し。

IM の外部 データベース 接続ステータスおよび存在サービスを確認して下さい

IM および存在サービスは外部 データベースでこのステータス情報を提供します:

- データベース 到達可能性- IM および存在サービスが外部 データベースを ping できることを確認します。
- データベース 接続- IM および存在サービスが外部 データベースが付いている開放型データベース接続 (ODBC) 接続をうまく確立したことを確認します。

注: 外部 データベースに ODBC 接続を失う場合 IM および存在サービスはアラームを生成します。

手順

1. Cisco Unified Communications Manager へのログイン IM および存在管理 ユーザーインターフェイス。 **設定されるメッセージング > 外部サーバを > 外部 データベース**選択して下さい。
2. [Find] をクリックします。
3. 表示したいと思う外部 データベース エントリを選択して下さい。
4. **外部 データベース Status** セクションの外部 データベースのための結果エントリのそれぞれの側のチェックマークがあることを確認して下さい。